

# せい ろう まち せ 聖籠町

# 議会だより



未来にはばたく子どもたち（蓮野こども園）

VOL.  
77

みんなで考える子育て

3ページ

日曜議会を開催

9議員が一般質問

8ページ





# みんなで考える子育て

## 12月定例会



▲ パパはみんなカメラマン

聖籠町家庭・地域教育審議会条例は、町教育委員会の諮問機関として、子どもたちに生きる力を育むため、家庭・地域への教育施策や教育力の向上に関して調査、審議するとともに学校との協働のあり方を提言してもらうために定める条例を制定するものです。

平成18年第4回定例会は、12月3日から8日までの6日間の会期で開かれました。助役及び固定資産評価委員の選任について同意2件、聖籠町家庭・地域教育審議会条例の制定、聖籠町農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例など計14議案が、活発に審議され原案どおり可決されました。また、請願1件、陳情2件を採択、陳情1件を継続審査とし、教育基本法「改正」法案について慎重審議を求める意見書など3件が可決されました。一般質問では、9人の議員が、副町長制、教育、農業振興、防災計画などについて町政全般を質しました。

### 主な質疑

都合のいい答申のである人選はすべきでない

小林清光議員

この条例は町に必要と思う。しかし、今問題になっているタウンミーティングのやり方や税制調査会等、執行者の都合のいい人を委

員にして、都合の良い答申をもらうためやってしまう危険な面を持っている。

に誘導していくようなことは決してないと考えている。

個人情報保護や情報の開示と裏表の問題もある。委員の名前は公表する予定はあるか。必要に応じて請求があったら、会議録・議事録は公表するのか。

### 誘導はしない

教育長

この審議会は、諮問し答申をもらうものである。そして、この審議会の目的は、子どもたちの抱えている問題を、学校、家庭、地域で考えていくことでもある。

教育委員会が何か望むものについて、その方向

### 妥当かどうか調査した

農業委員会事務局長

定数調査特別委員会を設置して、今後の委員定数が妥当であるかどうかを、各市町村、主に下越地区の村上市、山北町、神林村、荒川町、南蒲原郡の田上町の農家総数、農地面積、委員数を参考に調査、検討した。

その結果、選挙される委員は4〜5人削減すべきという意見があった。

### 農業委員定数の議論はどうか

中村恵美子議員

農業委員会の中で、この定数についてどんな議論が交わされてきたのか。

# 一般会計補正予算

旧網代浜児童館解体工事費  
 下新保地区かんがい施設整備事業補助金  
 加治川左岸畑かんがい施設整備事業補助金  
 育英生貸付金

504万円  
 393万円  
 383万円  
 1706万円減額

## 主な質疑

### 代替農地の将来 どう考える

**加藤正之議員** 町外の農地に補助金を出すのが、受益者は全員、聖籠町民なのか。

のか。県からの代替だといふ事情はわかるが、将来的に町外の人が、耕作者になる可能性もある。今後のことも含めて、どのように考えているか。

### 東港開発に伴う 対応である

**町長** 基本的には、補助金は町内の農地にすべきだと思っている。しかし、下新保地区（新発田市）、加治川左岸については、東港開発によって、代替農地として県から幹旋されたものである。

この度は、東港開発に伴う政策的な対応である。

**産業観光課長** 下新保地区の受益者は7人で、全員町民である。加治川左岸については、受益者187人である。

### 自己負担は どの程度か

**小川益一郎議員** 県から幹旋された農地は新発田の山の方にあり、耕作のために、苦勞していると思う。維持管理のために、どの程度、自己負担しているのか。

### 今年度の実績 だったと思う

**町長** 貸与人数は今年度の実績、だったと思うが、この制度も、かなり長いので、どうあるべきか再考する時期になった。来年度に向け、基準緩和を含めた検討をしている。

### 今回の補助は 50%である

**産業観光課長** 金額の詳細は把握していないが、土地改良に入っていない農地なので、全額自己負担している。今回の事業費は、総額780万円で50%の補助である。

### 具体的に 貸与した人数は

**五十嵐利栄議員** 育英生貸付金が減額になったが、具体的に計画した人数、貸与した人数、条件が合わず貸与されなかった人数はどうなっているか。

### どう思う 利用者の少なさ

**加藤正之議員** 県内の大進学率は伸びていて、町民の所得は減少している中で、育英生貸付金の利用者が少ないことをどう思っているか。

### 申し込み者 全員に貸与

**学校教育課長** 当初30人を予定していた。18年度の申し込み者は21人で、全員に貸与している。事前に諸条件の問合せの段階で断念している人もいます。



▲ 下新保地区のかんがい施設

平成18年度一般会計の既定予算から5346万円減額し、総額72億3186万円とするものです。主なものとしては、旧網代浜児童館解体工事費504万円、下新保地区かんがい施設整備事業補助金393万円、加治川左岸畑かんがい施設整備事業補助金383万円、育英生貸付金1706万円減額、町長選挙費637万円減額、水洗便所改造助成金648万円減額、下水道事業特別会計繰出金4896万円減額などです。

基準を厳しくして、借りにくくしたのではない



▲ 利用が待たれる福祉タクシー券

### 減額するのは 早すぎないか

**五十嵐利栄議員** 今年度初めて試みる、福祉タクシーの制度だが、当初どのような計画での予算計上だったのか。今の時期に減額するのは早急なように思うがどうか。

### 申請率が 伸びなかった

**保健福祉課長** 当初予算は、福祉タクシーの対象

### PRに問題は なかったか

**高橋繁憲議員** 福祉タクシー利用については、以前から要望があり実現した。しかし、今回、町からの案内がわかりにくかったという声があった。

### さまざまな形で PRした

**保健福祉課長** 今年度は、全戸配布で福祉タクシーの案内をした。その後、広報せいろうや各障害者団体にPR、保健師やケアマネージャーにもPRしてもらった。今後、今年度と同じようにPRしていきたい。

者375人全員分、計上した。しかし、実質申請率約30%で、利用者が伸びなかった。今後の新たな申請者を見込んでも不用額が出るので減額した。

利用者が少なかったことは非常に残念である。PRに問題はなかったか。来年度は、利用者が増えるようなPRをどう考えているか。

### ●ごみ処理施設談合住民訴訟

### ●学校図書館支援センター 推進事業

### ●後期高齢者の独立した 医療制度

## 行政報告



渡邊町長

まで確認できません。

▼4月から各小学校の学校図書館機能を充実させるため、学校図書館司書を配置した結果、図書館を訪れる子どもたちと本の貸し出し冊数が増えるなど効果が現れています。さらに定着をはかるため、3カ年事業で文部科学省から「学校図書館支援センター推進事業」の委嘱を受けました。

▼平成19年4月1日より一般旅券の発給に関する事務を、県から権限移譲を受けることとしました。

▼老人保健制度について、法令改正により、75歳以上の後期高齢者に対する独立した医療制度が、平成20年4月からスタートします。同制度の財政運営を行う「新潟県後期高齢者医療広域連合」が設置されます。

▼新潟市と聖籠町で組織する豊栄郷清掃施設処理組合のごみ処理施設談合住民訴訟については、9月28日に新潟地方裁判所の判決がありました。

越北は103「やや良」でした。聖籠町産米の出荷数は60096・5俵で一等米比率は84・2%でした。

米政策改革に係る「産地づくり交付金」「新需給調整システム定着交付金」「稲作構造改革促進交付金」など、対策交付金が検討されています。

詳細については、12月20日に予定されている市町村別需要量の情報提供

▼次第浜土地区画整理事業用地に建設される、介護老人保健施設については、2月中に地元説明会、近隣市町村の同意、県への計画書提出などを終えると、現在のスケジュールでは平成20年5月1日、開設予定としています。



## 読者の声



豊島 雪江さん  
(諏訪山)

### 町に望むこと

一刻の仮住まいのつもりでお世話になったのに、早や20年近くなりました。

町民会館が建設された年でしたので、知人もいなかったので、今では、心温かく言葉を掛けて下さる方々も多くいて、本当に感謝の日々です。

この町は、気風がおだやかに満ちているので、とても心が和みます。

当時は免許取り立てで、また、生活行動に

そののみか、私共世代を境に老人が爆発的に増加することは間違いないありません。

困難を覚える程でもなかったのです。しかし、最近はおも増し、また、同居の息子も二重三重の障害を抱え年齢に似合わぬ老化の進み方とでもいうか、私の体調不良の時は心細くなります。

せめて4・5日昼夜預かって頂ける場が町にあつたらと思います。

いや、できることなら、先々安心してお願いできる施設があれば、つい欲張った思いが湧き出ます。

いずれにしても贅沢は不要です。厳しい寒暖を防ぎ清潔であればそれでいい訳で、ホテルのようなものは望みません。不用になつた建物を再利用してでもいい訳です。ややこしい手続きもなく、実費だけでどうぞとお願ひできる場所があつたら、どんなにか安心して暮らせるでしょう。

この町には、良質の人材が、そして穏やかな気風がまだ残っています。暖かい心の人々に見守って頂けることは、何よりの弱者の喜びです。

どうぞ、福祉行政に心ある力を頂けますようお願いいたします。

弱者の日々が充実されてこそ、他町に誇れる町と信じています。

## みなさんの 請願・陳情

第4回定例会では、地域住民より直接の声となります請願1件、陳情3件が審査され、請願1件・陳情2件を採択しました。また、陳情1件を継続審査としました。

### 採択となった請願

◎「品目横断的経営安定対策」と米価下落対策にかかわる請願（提出者 農民運動新潟県連合会 町田 擴）

### 採択となった陳情

◎「教育基本法の改定について慎重審議を求める意見書」の採択を求める陳情書（提出者 新潟県公立高等学校教職員組合執行委員長 斉藤 進）

◎「防災・生活関連を中心とした「公共事業」への転換と公共サービスの民間化に反対する要請書」（提出者 国土交通省全建設労働組合北陸地方本部執行委員長 羽深 圭一）

### 継続審査となった陳情

◎道路整備の陳情書（提出者 山大夫区長 佐藤 幸雄）

### 意見書3件を国に提出

第4回定例会では、3件の意見書が提出され、全会一致で可決されました。可決された意見書は、国に提出し実現するよう要請します。

◎教育基本法「改正」法案について慎重審議を求める意見書

◎「品目横断的経営安定対策」と米価下落対策にかかわる意見書

◎「防災・生活関連を中心とした「公共事業」への転換と公共サービスの民間化に反対する意見書

# 第4回臨時議会

## 消防ポンプ自動車購入

平成18年第4回臨時議会が、11月6日、1日間の日程で開催されました。提出された議案は、物品購入契約の締結について「消防ポンプ自動車購入」1件が審議され、原案のとおり可決されました。

### 主な質疑

差があったのか。

発注から納入までどのくらいで納入されるのか。

### 最高と最低の差は

五十嵐利栄議員

3社の

指名競争入札ということだが、この最高額と最低額ではどのくらいの額の

およそ550万くらい

税務財政課長

落札した新潟モリタ株式会社と、

新潟ラビットポンプについてはおよそ300万円の差がある。船山株式会社新潟支店については、そこから250万円くらいの差がある。

納期は、指名委員会の段階では約5カ月を要するということである。

新潟ラビットポンプについてはおおよそ300万円の差がある。船山株式会社新潟支店については、そこから250万円くらいの差がある。

納期は、指名委員会の段階では約5カ月を要するということである。

### 入れ換えの基準は

坂上誠一議員

聖籠町は

軽自動車含めて自動車ポンプが主になったが、入れ換えの基準はどうか。

### 15年〜20年くらい

生活環境課長

ポンプ消防自動車の交換の目安は、15年〜20年くらいで更新をしている。



▲ 役割はあと3カ月

## 助役に二宮正光さんを同意



二宮 正光さん

平成19年1月1日をもって任期満了となる助役人事について、駒田文雄さんの後任に、収入役である二宮正光さんを選任することに賛成17・反対0で同意しました。

二宮さんは、平成8年1月1日から平成11年12月31日まで代表監査委員を、平成12年2月10日から、この度の助役就任まで収入役として、卓越した識見を発揮して来られました。今後は、助役として本町の行政に対し手腕を期待するものです。

## 固定資産評価審査委員に

## 小林政榮さんを同意



小林 政榮さん

平成18年12月19日をもって任期満了となる固定資産評価審査委員の渡辺孝温さんの後任に、小林政榮さん（大夫興野）を全会一致で同意することとしました。

小林さんは、長年にわたり団体職員としての経験を有し、同委員としての知識並びに人格とも卓越した方です。今後の活躍に期待するものです。

# 9議員が質問

## — 加藤正之 議員 (9ページ) —

1. 給食費未納はどうする
2. 副町長の権限は
3. 税制改正の影響は

## — 五十嵐利栄 議員 (10ページ) —

1. 聖籠町に天の声はあるか
2. 合併で差別はないか

## — 宮沢光子 議員 (11ページ) —

1. 現場と問題を共有しているか
2. 信頼していいのか中学校
3. 中学生海外派遣事業の今後は

## — 砂原近衛 議員 (12ページ) —

1. 記念式典の計画は
2. 助成できないか経費の一部

## — 中村恵美子 議員 (13ページ) —

1. 農産物の価格補償拡大を
2. 出産育児一時金の増額を
3. 登録制度の引き上げを

## — 桜井 怜 議員 (14ページ) —

1. 町営住宅建設の考えはないか
2. 職員の潜在能力の活用を

## — 堀 常正 議員 (15ページ) —

1. 農・商・工業交流は
2. 国際交流の拡大は
3. 船だまり環境整備は
4. スポーツクラブ支援を

## — 小川益一郎 議員 (16ページ) —

1. 自立支援弱者に手を
2. 農家にメリットはあるか
3. 中学の不祥事何か

## — 高橋繁憲 議員 (17ページ) —

1. 地域防災計画の策定は
2. 災害時の要援護者の対応は



# 町政を聞き

# 一般質問





加藤 正之議員

# 給食費未納はどうする

## 理解を求めていく

**問** 全国的に学校給食費の未納が増加しているが、聖籠町の滞納率は1・57%で全国平均の3倍になっている。

滞納世帯への対応例では、学校やPTAが集金しているところや、収納補助員を雇っているところもある。また、口座振替だと誰が滞納しているのか他の人にわからず、匿名性が高く滞納の原因だと指摘されている。

**教育長** 以前は学校の先生を介して集金していたものを、平成14年から先生方には教育に専念してもらいたく口座振替にしたが、このような問題を生み出した。

新潟市で行われているプリペイドカード方式も検討に値するが、経費もかかるなど簡単には導入できない。

当面は未納者に理解を得ることを前面に進めていくが、未納を放置するわけにはいかない。

## 副町長の権限は

### 3月までに示す

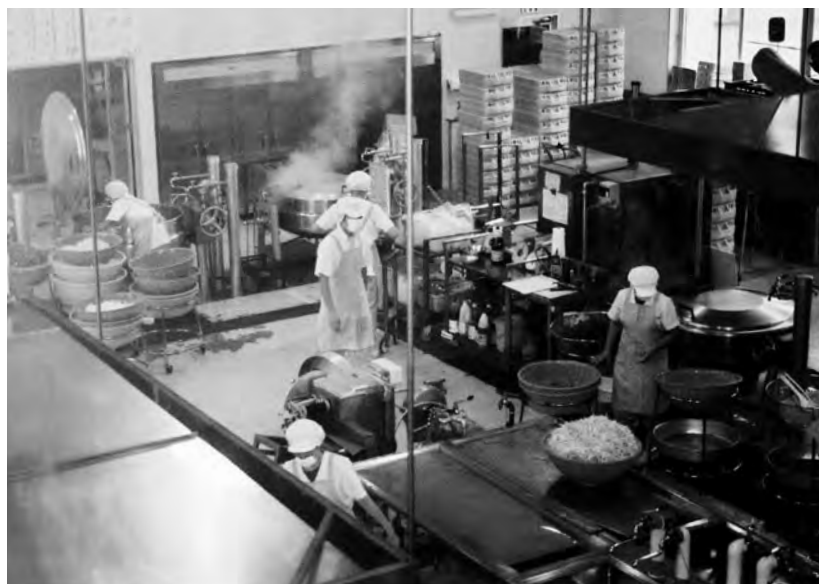
**問** 駒田助役が任期満了になることから、二宮収入役を次期助役に選任する議案が提出されている。

地方自治法の改正により、4月1日から助役は副町長になるが、権限・

報酬はどのように変わるか。

また、これまでの収入役の仕事はどうするか。

**町長** 副町長の権限は3月議会までに基本的な考え方を示したい。



▲ 時間とたかひながら給食づくり

また、助役の報酬額を踏襲することを基本として、報酬審議会の意見を聴取したい。

3月末までは、収入役の職務代理として会計室長を任命し、4月以降は経費節減を考え専任の会計管理者を置かず、職員の内命行為によって対応したい。

## 税制改正の影響は

### 国が決定したら 2億円の減収

**問** 政府税制調査会による固定資産税の見直しが行われた場合、町の税収にどのような影響があるか。また、法人町民税にはどの程度影響するか。

**町長** 町の固定資産税の中でも償却資産税が大きくなウエイトを占めているため、試算すると約2億円近い税収が見込めなくなる。

**税務財政課長** 地方税の法人町民税については、全国で2千億円の減収になるが、情報が少なく町への影響分は試算していない。

# 聖籠町に天の声はあるか

## 天の声などない



五十嵐利栄議員

**問** 全国の県や市町村で官製談合による、不祥事が続発している。

官製談合が発生する原因は、入札制度・選挙の金・業者とのつきあい方・多選などあるが、防止策として一般競争入札の導入がベターとして、国や県も法制化の検討をしている。

聖籠町の入札は指名競争入札と随意契約で行われているが、なぜ一般競争入札を導入しないのか。官製談合で言われている「天の声」などという声は聖籠町にもあるのか。



▲ 町民の窓口業務もITで

**町長** 一般競争入札を導入すると、全国の企業に対応を求められることとなり、事務的にも煩雑になる。新発田市で実施している、公募型一般競争入札制度なども今後の検討の中に含めて考えていく。天の声などは私自身も聞いたこともないし、言ったこともない。職員にも公平・公正な執行と、公務員倫理を全うするよう指導している。

新発田市で実施している、公募型一般競争入札制度なども今後の検討の中に含めて考えていく。天の声などは私自身も

## 合併で差別はないか 差がないとは言いきれない

**問** 県の幹部と話した際、合併に協力した市町村と協力しない市町村に許認可事項を含めて差をつけるのか伺った。「過去にはあったかも知れないが今はない。」という答だった。

また、新発田警察署管内、過去4年間の信号機設置実績を調査した。新発田市と合併した旧豊浦町や紫雲寺町を含めて、新発田市には20基の信号機が設置された。

一方聖籠町では、3年前に道路拡幅し、人身事故が多発し、通学で子どもたちが危険にさらされている、道賀新田から山倉小学校に向かう危険箇所信号機設置要請を含めて10カ所の設置要請しているが、実績は0である。これは差別でないのか。

**町長** 県政運営の中で、合併した市町村としない市町村での差がないとは言いきれない。しかし、知事を含めて県の幹部も公平・公正な立場で向き合ってくれていると思う。信号機設置については、私も危険度を感じて要請しているのに、なぜ対応してくれないか再三話している。信号機の数の減少や、南バイパス優先のためと言っているが、今後も一生懸命頑張る。



宮沢 光子議員

# 現場と問題を共有しているか

## 指導主事からの現場報告を共有

**問** 全国各地で、いじめが大きな問題になっていく。マスク報道によって、更なる負の連鎖が起きていくようだ。

の状況や実態把握など、学校と問題を共有しているか。町特有の問題の分析、問題解決など議論しているか。

子どもの問題は大人の問題である。子どもたちの問題行動をキャッチする大人たちの感性が鈍いと子どもたちは健全に育たない。

**教育委員長** 学校現場との接点は、校園長会や指導主事からの現場報告である。学校管理職と意見交換し、報告を受けて、教育委員全員で議論し、提言をしている。

いじめ問題だけでなく町の小中学生が抱える問題は山積みである。教育委員会は学校現場

# 信頼していいのか 中学校

## 統合は結果としてよかった



▲一人ひとりが主人公（聖中秋灯祭）

**問** 渡邊町長は初当選の時、公約に中学校統合を掲げた。

人材育成の観点からも統合は間違いではなかったと思うが、単純に従来の統合ではなかった。

県内で初めての教科センター方式など、特色ある学校運営がされている町づくりの一翼を担う

中学校に対し、町長はどう思っているか。

過去の議会で、現役の保護者たちの不安や危惧していることなど質問してきた。聖中の教育の理想と現実のギャップを、今一度、原点に返り問題と課題を精査すべきである。

**町長** 統合の時、今の方式を選択したことは了解したことである。悪い面

だけを抽出せず、いい面を出してほしい。今後も行政支援と施策を講じていく。

**教育長** 教科センター方式は誇れるシステムである。学校内での問題について、保護者と校長が直接話した方が、問題解決につながる場合がある。

# 中学生海外派遣事業の 今後は

## 中学校からは継続希望があった

**問** 今回初めて、町単独で「中学生オーストラリア語学研修派遣事業」が実施された。今後この事業はどうなるのか。

**教育長** 今までの内容を反省して、学びの対象が強いものを意識的に選択した。今回はとても好評であった。今後のことは検討課題である。





砂原 近衛議員

# 助成できないか 経費の一部

## 個々には支援できない

**問** 毎年、文化祭で立派な書道、絵画、手芸など出品されて、見る人を楽しませ盛会であった。今回は聖籠出身の人達の作品が多く展示された。特に絵画については、日展入選の作品などがあり、これらの作品は制作費が高額とのことである。町として経費の一部を助成できないか。

**町長** 創作活動に対して助成措置を講ずるべきとのことと思うが、個々の町民の皆さんに対応するとなると、公金の執行支出としていかなるものかと考える。現状においては、文化団体連絡協議会という組織に対して、補助金を支援している。しかし、一般的なものを

を通り越したプロ的な、芸術作品等の創作者に対して、個展や発表会等をする場合の特別な助成については、支援はできない。しかし、先般創作作品を寄贈していただいた埼玉県の野沢登美子さんについては、非常に有り難く思っている。今後子どもたちの教育的な対応の中でもすばらしい作品である。

この度の野沢さん、それから、土田ふみさんの絵画遺作の寄贈に対して、大変名誉に思っている。広く町民に紹介していきたいと機会をとらえて考えている。



▲ 盛況だった文化祭

# 記念式典の 計画は

## 実施に向けて検討中

**問** 町制を施行してから平成19年は30周年となるのではないかと。当面は合併しない本町だが、過去を振り返り未来を見つめる絶好の機会かと考える。イベントを計画し、町内外に誇示するのによいかと思う。記念式典の計画を考えているか、その時期は。

**町長** 平成9年に20周年を祝い、将来に誓いを新たにさせてもらった。30周年についても基本的に、20周年と同じ考えで記念式典、並びに各分野にわたるイベント等を、町民と多様な形で展開していきたいと思う。現在実行委員会、新たな発想も含め企画検討を行っている。式典の予定は、7月末の日曜日を想定している。



中村恵美子議員

# 農産物の価格補償拡大を

## 取組みできるか検討

**問** (1)農地の基盤整備は、関係者と話し合いのうえ、年ごとの目標をたて、実行するよう求める。  
 (2)米の価格補償制度を堅持し、再生産のできる米価を政府に要求するよう求める。  
 (3)農産物の価格補償をネギ、果実類にも拡大できないか。

**町長** (1)農地の基盤整備は、前向きな形で農家の皆さんとの協議を調べて、対応していく方向性を示していかなければならないと理解している。  
 (2)米価の維持ということで、適切な需給調整の対応が必要である。  
 (3)来年度に向け農家の皆さんと、新たな取組みできるか検討したい。



▲ 初冬の球根覆土作業

## 出産育児一時金の増額を

### 祝金とあわせ対応

**問** (1)国民健康保険料の未納を理由に、資格証明書の発行は行うべきではない。  
 (2)介護保険の軽減制度の充実を求める。  
 (3)在宅介護手当は、1万円以上の増額を求める。

**町長** (1)国保については、納税相談や実態にあわせ対応していく。  
 (2)介護保険料は、経済的に苦しい立場の方々等は、軽減措置がされているの

で改めて対応の必要はない。  
 (3)在宅介護手当は生活困窮者や低所得者に対して、これまでの月1万円を維持していく。  
 (4)出産育児一時金は、10月より35万円、4月より第一子に5万円のお祝金を実施している。あわせて40万円の対応をしている。

## 登録制度の引き上げを

### 来年度の予算に向け検討

**問** (1)町の制度融資が気軽に利用できるように、改善すべきでないか。  
 (2)小規模工事契約者登録制度の上限金額を、100万円から200万円に引き上げられないか。  
 (3)住宅の耐震診断及び耐震補強工事の助成はできないか。

**町長** (1)商工業者にとっては、借り入れがでなくなる前に商工会に相談してもらい前向きな対応を願う。  
 (2)小規模工事の上限金額は、来年度の予算に向けて検討したい。  
 (3)住宅の耐震助成は、県の動向を見ながら検討を加えたい。



桜井 怜議員

# 町営住宅建設の 考えはないか

## 民間の誘導をはかる

**問** 人口増加政策について、町の総合計画では、平成20年までに、人口1万8000人を目標としているが、国勢調査資料を見ると、昭和55年の人口は1万2232人で、平成17年度の調査では、1万3497人である。この25年間で、増員が1265人である。これらを考えると、1000人単位の増加は、先の遠

い年月かと感じる。そこで、行政が若者の好む、マンション風の集合住宅を建設し、入居者の条件として、子どもがいる家族、これから結婚する人、そうすることで、若者の転出数も減らすことになり、町税の増収も大きいので、建設の考えはないか。



▲ 充足率100%の東山町営住宅

**町長** 人口1万8000人という将来の方向性を確認しつつも、現状では、非常に難しいと思う。しかし、町内における民間の住宅事情を考えると、建設すればその需要が満たされる環境にあると聞いている。

あえて、町が町づくりに住宅政策を優先的に位置づけるより、むしろ民間の誘導をはかりながら、住宅政策を確認し、対応していくことが必要だと思っている。ただ政策的な展開としては、十分考えられるの

で、そういう時点で、検討する必要があると思う。

# 職員の潜在能力の活用を

## 提案制度の活用で

たとえば、町税の増収に何ができるか・職員意識の向上については・男女平等の中にどう仕事に意欲を持たせるか等に知恵を出してもらい、きらりと光る町づくりに、若い生氣ある職員による、町長の諮問的な機関をつくる考えはないか。

**町長** 町では職員から、事務事業や、町民サービスに対して、提案制度を活用し、対応をはかってきた。若い職員を構成員として、新しい発想のもとで知恵を出してもらい、能力開発をしている。また、男女平等のことで、差別はしていない。能力のある人はどしどし登用していきたい。

**問** 町には、広い知識を持った、若い職員がたくさんいる。その人達に、町長より議題提起をし、





堀 常正議員

# 農・商・工業交流は

## 対応をはかる

**問** 平成元年から黒龍江省の留学生交流事業、あるいはハルビン市と交流を交わし、小中学校の互訪問の文化交流を行っている。

今後は、文化交流のみでなく、多くの町民との関わりを持つ農業、漁業、商業などの新分野交流拡大を総合的、または大局的見地より推し進め、地元産業の育成、支援事業につなげられないか。

**町長** 中国が経済発展している。今後は文化交流も継続しながら、農業、商業、工業も大いに交流していく必要がある。これからの交流計画の持ち方の中に定義づけてはかっていきたい。



▲ 国際交流の輪をもっと大きく

## 国際交流の拡大は

### 今後の課題

**問** 聖籠町の国際交流は中国との交流がほとんどである。今日のグローバルな時代に排他的な考えではなく、多くの異文化を受け入れること。あるいは発想の転換も今後必要と考えるが、これからの交流拡大につながる調査などの一步を期待したい。

**町長** さらなる交流促進をはかっていきたい。東港の有機的な結びつきを考えた極東アジアのロシアの都市なども模索してもよいのではないかと思う。また、県、新潟市と同調し、東港の役割を担いながらの立場で新国際交流も選択していきたい。

## 船だまり環境整備は

### 継続性ある施設整備

**問** 聖籠海岸をセーリング競技会場とする新潟国体開催までに3年を切つた。

具体的な競技会場整備、周辺整備計画が見えてこない。県の整備計画が固まる以前に、町の有効施設利用、あるいは継続利

用可能となる周辺環境整備は計画されるのか。  
**町長** 一過性の整備では意味がない。保安林の一部解除も含め、恒久的な有効活用ができる施設整備促進をはかっていきたい。

## スポーツクラブ支援を

### 協議している

**問** 豊かな心を育むために大いに貢献してきた、少年スポーツクラブ支援に行政の強いリーダーシップを発揮してほしい。  
**教育長** 入会者が十分な数ではないので、サポートせいらうの事業取組みと、それ以外にも今後の事業を協議していく。

# 自立支援弱者に手を

## 今までと同じ支援



小川 益一郎議員

**問** 障害者自立支援法が平成18年4月1日より施行され、10月1日から本格的な運用となった。

この法律は平成24年3月31日までの5年間は経過措置が認められている。障害者が施設を利用する場合10%の負担が必要である。経済的な負担が大きい。

町社会福祉協議会で運営している「杉の子の家」は今後どうなるのか。

10%の個人負担を行政が負担すべきでないか。

**町長** 自立支援法で障害福祉サービスが自立支援給付と市町村が主に対応する地域支援事業に区分された。

5年間の経過措置はあ

るが、障害福祉に関しては法律改正にかかわらず今まで通りの対応をはかりたい。

「杉の子の家」も国の補助金がなくなっても、町単独事業として位置づけたいと思う。



▲ 将来も守られる杉の子の家

## 農家にメリットはあるか

### メリットはある

**問** 品目横断的経営安定対策事業は農家にとってメリットがあるのか、また、この事業を活用するにはどのようなところに力を入れ農家の皆さんに

理解を求めるのか。  
**町長** 今まで一律に全農業者を助成対象としてきた。農業政策から一定規模以上の認定農業者である

担い手（個人4ヘクタール以上、集落営農20ヘクタール以上）に助成を集中させて、米価下落等に耐え得る農業者の育成が目的である。

大きな農政転換であることから加入の意向確認のアンケート調査や説明会を開催している。

担い手として位置づけられる農家はメリットがあると思う。

## 中学の不祥事何か

### 具体的説明控えたい

**問** 中学校で不祥事が続いている。不審火、校舎破壊、いじめ、万引等々警察のパトカーまで学校に來たと聞いている。

今中学校ではどのようなになっているのか。

**教育長** 詳細について説明することは差し控えたい。いずれも大半が既に解決している。生徒も先生や親からの指導で反省の色が濃く、議会の場で言及することは教育的観点から不安を覚える。

# 地域防災計画の策定は

## 18年度中に要約版を作成する

**問** 災害は待って欲しくないし、いつ来るかわからない昨今である。

常に有事を想定し、その対応に誤りがないよう要望する。

- (1) 17年度外部委託した、町地域防災計画の進捗よく状況と、県防災計画との協議内容は、
- (2) 町防災計画策定業務委託業者に示した町の基本的な考え方と、重点項目は、
- (3) 町防災計画策定にあたり、関係者の意見聴取等は進んでいるのか。



高橋 繁憲議員

(4) 平成18年度施政方針（防災等）の展開状況は、

(5) 災害時における食料支援対応は進んでいるのか。

**町長**

(1) 9月に庁内の内部調整を終えて、10月に県との修正素案の協議を実施。現在県計画も国と協議中。12月中に防災会議を開催し、年度内に要約版を作成し、町民へ配布する。

(2) 重点項目は、自主防災組織の育成と、災害時要援護者対策が柱である。

(3) 阪神、中越大震災を踏まえ、震災対策を重要視し業務委託している。

(4) 施政方針展開は、職員



▲ 備えあれば憂いなし

の初動マニュアル策定中、危機管理対策も、防災計画と合わせ国民保護計画を策定中で年度内に完成したい。

(5) 食料支援体制は、食料品以外に、生活関連物資、災害復旧関連資機材、医師の派遣等も含め、関係機関、民間業者との援助協定を推進していく。

東港食品製造会社とは、口頭で協定について要請し理解を得ている。現在所管で協定案を検討中。

## 災害時の要援護者の対応は

### 手挙げ、同意方式を念頭に

**問** 災害時要援護者の対応と医療機関との連携はどうか。整合をはかるのか。

**町長**

町地域防災計画の重要な柱である。

国では、災害時要援護者の避難支援ガイドラインを策定し、要援護者の情報共有方式として、関係機関が要援護者の同意を得ずに平常時から、自主防災組織、民生委員などと情報を共有する方式等、3つの方式がある。

当面町は、手挙げ方式、同意方式を念頭に置き、防災、福祉等の所管課で連携していく。

医療救護は、現在災害時の医師不足解消のため、郡医師会と応援協定締結に向け協議中である。



# 課題調査報告

## 亀代小学校を視察

総務文教

11月7日、全国でいじめを苦にした児童生徒の自殺が相次いでいることから小中学校のいじめの実態等について調査を行った。

いじめは小中学校合わせて15年度7件、16年度5件、17年度3件と年々減少している。

不登校については17年度小学校5人・中学校15人、18年度7月時点で小学校3人・中学校10人となっている。

全国では学校・教育委員会がいじめの実態等を隠べいし、それが児童生徒の自殺につながるなど大きな問題になっているが、学校で起きている問題で、開示できるものは情報として町民に提供するよう要望した。



また、全国的にLDやADHDなど、特別な支援を必要とする児童生徒が増加している。対象となる児童を出来るだけ早い段階で見つけると共に、保護者の理解を得ながら適切な対応が望まれる。

## 川越町と玉城町を視察

社会厚生

10月10日・11日、三重県川越町と玉城町を視察調査した。

内容は、介護福祉についてで、川越町は本町と同じLNGによる火力発電所が立地しており、財政豊かで介護福祉事業について、特に力を入れていることを確認した。また、玉城町では、財政的支援よりも、職員間の連携プレーによる福祉活動が行き届いていると痛感した。

また、開会中の委員会では後期高齢者医療広域連合規約など4議案、一般会計補正予算ほか特別会計補正予算4議案を調査した。

後期高齢者医療制度は、高齢化による医療給付費財源を



確保するもので、75歳以上の医療費を別枠で県下市町村で平成20年4月より連合組織で補う制度である。

# 委員会の重要

## 大内宿を視察

### 産業経済建設

10月30日、観光と農業の関わり及び数十年にわたり観光客が減少せず、むしろ年々増加している原因は何かを調査のため、福島県の大内宿を視察した。

ここは、まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような錯覚さえ感じさせる、茅葺き屋根の家が42戸連なり、昔を感じさせる優しさが今も息づいていた。

そんな雰囲気を求め全国各地から100万人も観光客が訪れ年々増加している。

また、町が1ヘクタールの駐車場の整備をして、当地の町並み保存会が管理運営して、年間駐車場の売上げ3500万円もの収入のうち町に1割返している。

農業との関りは、地元で採れたソバ、トチの実を加工したお菓子やりんご等を地元から仕入れ農業の活性化

化につながっている。

また、行政は観光客が落ちないように積極的に全国にPRしていたのには感心させられた。

本町は、地の利を活かした海岸整備、スポーツの振興、ざぶくん及び観光果樹の町としてアピールする必要性を感じた。



## 斑鳩町を視察

### 議会運営

地方自治法の改正により、議会制度の見直しははかられることになった。

平成19年4月1日の施行を前に、議会活性化の実践について、去る10月4日奈良県斑鳩町議会を視察した。

(イ) 議会運営委員会の活動状況(口) 一問一答方式(ハ) 議会の議決権範囲の拡大等勉強し斑鳩町議会の皆さんと意見交換し有意義な研修をすることができた。

斑鳩町は面積14・27キロ平方メートルと小さく、本町の1/3弱の中に人口2万8520人と密度が高く、ユネスコの世界文化遺産に日本で初めて登録された法隆寺と聖徳太子ゆかりの観光の町である。



合併をしない自立の町をめざし、議員定数も19年度から15人とし、助役・収入役も廃止する。

一問一答方式を採用し一般質問は常に12〜13人と盛況である。提出議案説明書も事前に配布し、すべての会議が公開され先進的な議会であった。



## お知らせ

町政を知るよい機会  
議会を傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが論議されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのだろうか。

あなたに身近なことも知れません。

だれでも傍聴できますので、ぜひ一度おいでください。

おいでになれなかったときでも、町図書館と保健センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧ください。

次回定例会は、3月初旬の予定です。



## お願い

あなたもみんなのページ

聖籠町に嫁いで来た  
お嫁さんに出てみませんか！

もし、私もと思っている方はご連絡下さい。

対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。

(連絡先)

町役場議会事務局

☎0254-27-2111(内線321)

### 議会広報対策 特別委員会

議長	高松 春雄
委員長	中村 恵美子
副委員長	宮沢 光子
委員	高橋 繁憲
	小川 益一郎
	宮下 晃
	五十嵐 利栄
	桜井 怜

# みんな

# の

# ページ

## 聖籠町に嫁いで来た お嫁さん



西尾 佳代子 さん  
(本三賀)

### Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？

二本松在住の友達夫妻が、私たちのキューピットとなってくれ知り合いました。

私は奥さんとテニスの仲間で、彼は、ご主人の会社の後輩で私たちに出会いのきっかけを作ってくれました。

結婚することを、一番に伝えたのですが、結婚するとまでは予想もしていなかったようで、ひどく驚いていましたが、とても喜んでくれました。

結婚してからも、車で5分くらいとご近所になり、ますますお世話になっています。

### Q 聖籠町に嫁いで来て どんなイメージを持ちましたか？

結婚するまでよりも新発田の職場へ行きやすくなり、バイパスや高速のインターも近く、とてもアクセスの良い町だと思いました。

また、アルビレックスのクラブハウスもあり、スポーツの盛んな町だと思いました。

### Q 町での生活はどうですか？

主人の家族だけでなく、近所の方もニコニコあいさつしてくれたり、親切にしてくれるので、とても過ごしやすいです。

まだまだ、主人の家族には迷惑をかけることばかりで甘えさせてもらってます。

これから少しずつでも、家族のためにできることを増やしていきたいと思っています。

### Q 町に望むことはありますか？

たくさん市の市や町が合併し、大きな市ができていますが、聖籠町はいつまでも合併などせず、頑張ってもらいたい。

### 議会広報対策特別委員会

委員 桜井 怜

支援、ご協力をお願いします。

私たちが広報委員は、議会だよりを皆様に読んでもらえるよう、研修を重ね心がけてきましたが、現委員での発行は残り2回となりました。

今年は、平和な良い年であることを祈りたいです。

昨年、いじめ問題で多くの子どもさんが自ら命を絶つ悲しい出来事と、官製談合の不祥事で知事が3人も辞職する行政不信をいだかせ、やり場のない、寂しい年でありました。

## 編集後記